

あったら
うれしいお店

5 選



- ① スポーツ店
- ② 映画館
- ③ 水族館
- ④ 服屋
- ⑤ 食べ物屋さん



2025年
2

ARIDA

有田にここにこタイムズ

【新聞の作者】

7組2班

有田市に

人が集まる場所が

ほしいです！

有田市は自然豊かですが、遊ぶところが少なくて困っている学生が多くいるのが現状です。

友達との関わりが少なく、遠くに出かけるにも多くのお金がかかります。なので有田市に人が集まる場所を作ることと有田市に住み続けたいという気持ちが大きくなり、人口増加につながると思っています。

有田市を県外からの若者にも人気が出るような観光スポットにするために、少し変わった施設を設置することで人口が増加すると思っています。

ありきたりな施設だと、県外から多くの客を呼ぶことはむずかしい。

そのため、人々の気を引くような、面白く楽しめるものや施設、環境が必要だと思います。

例えば、日本にはないような海外をモチーフにした建物をつくったり、小さい子の遊び場も兼ねた場所をつくったりしてはと考えました。



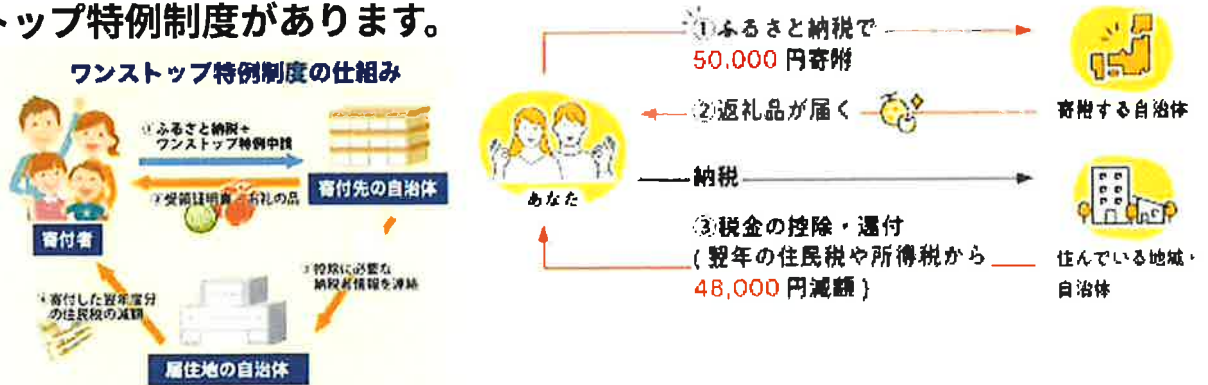
ふるさと納税を知ってもらおう

ふるさと納税の仕組み

2年3組5班

ふるさと納税は、本来住んでるところに収める税金を、ほかの自治体に収め、返礼品をもらう制度です。

確定申告をする必要のない給与所得者などがふるさと納税を行う場合に、確定申告を行わなくてもふるさと納税についての寄附金控除が受けられる特例的な制度のふるさと納税ワンストップ特例制度があります。



～ふるさと納税の良いところ～

1. 返礼品がもらえる返礼品が受け取れることはふるさと納税の大きなメリット
税金が控除されるふるさと納税を利用すると寄付額から2000円を差し引いた額が所得税や住民税から控除される・寄付金の使用目的が選べる

～ふるさと納税課題～

- ・自己負担額2000は必ずかかる・減税や節税効果があるわけではない・控除限度額を超えて寄付すると自己負担が増える・税金控除を受けるためには手続きを行う必要がある



～ふるさと納税の狙いを達成するためにどうしたらよいだろうか～

ふるさと納税の狙い

- ・納税者が故郷やお世話になった地域などを選んで応援すること
- ・自治体は選ばれるまちづくりの意識醸成、地域活性化
- ・税収の偏りを是正

狙いを達成するために成功した例

- ・PRをし、返礼品を焼酎と肉にする大胆な改革を行ったこと
- ・学校外教育サービス利用助成事業や、進学のための奨学資金に充てられる

有田市の特産品を使った 商品を開発する



みかんや太刀魚などの有田の特産品を使った商品を開発し観光客に多く来てもらえるようにする！
有田市の人口がだいぶ減ってきているから少しでも観光客が来て住みたいと思っしてほしいから！



現状

人手不足で畑の
管理が難しい



現状

漁師が減ってきている

課題

みかんの生産量を増やす
人手を増やす

課題

漁師さんを増やす

プラス1

有田の特産物のみかんや太刀魚など
を使った商品をみんなで考える。

ウエノ公園大改造



7組 3班

○このテーマにした理由

遊ぶところや集まる場所が少ないから。

○欠点

今のウエノ公園は3月～4月にかけて桜まつりでにぎわっており、桜がとてもきれいだが、トイレの衛生面や暗くて足元が見えづらい、不気味などの欠点がある。そのせいで平日などはなかなか人が集まらなくなっている。

○改善点

そこで私たちの班ではどの時期でも明るくにぎやかにする必要があると考えた。桜まつりが開催されていないときもランタンやちょうちんなどを設置すれば足元もよく見え、ライトアップもされるので、人も増えると考えた。

○提案

桜以外の取り柄があまりないため、キッチンカーを定期的に呼べば改善できると思った。どの年齢でも利用できるように平日は高齢者向けのだかしや和風の物売り、土日や祝日は若者向けの流行りのものなどを売ればよいと考えた。キッチンカーの出店はネットで人を募集したり、すでにキッチンカーを使って働いている人を呼べばよいのではないかと考えた。



APP

みかん街道にイルミネーションを設置しよう！

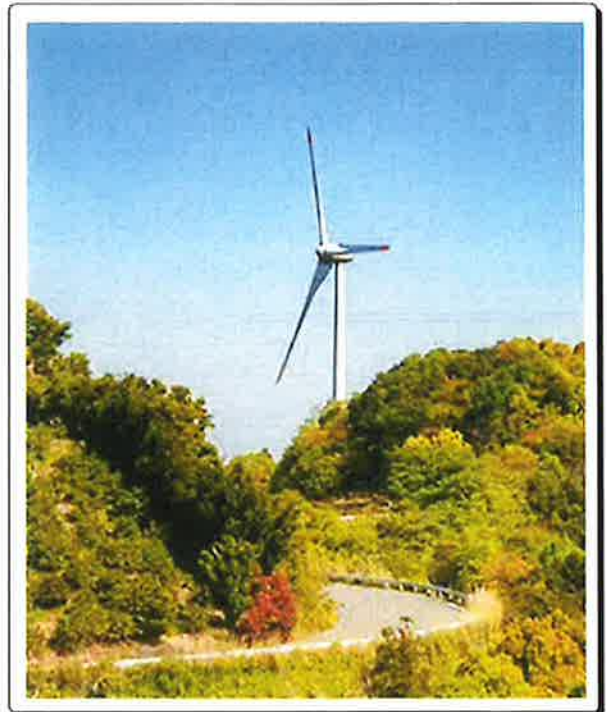
現状

観光スポットとして成り立っている

- ・ ツーリング
- ・ サイクリング
- ・ ドライブ

課題

- ・ 高齢化と人口減少による労働力不足
- ・ それに伴うみかん栽培の衰退
- ・ 地域全体の活力も低下している



理由

市役所の方のお話を聞いたときに暗いところを光らせることで観光客が少しでも増えたといっていたからです。それが自然の中にあればもっと観光客が集まると思ったからです。

それによって変わること

都会では味わえない独特の雰囲気を楽しめることにより観光客を引き寄せる可能性がある

プラスワンのタイトル

暗い場所を照らそう！！

子育てしやすい環境をつくる

～テーマ決定の理由～

子育ての環境をよくすると少子高齢化を食い止められると思ったから。



～現状～

- ・ マリー・ユーが行われている
- ・ 医療費が無料になっている
- ・ 病児保育の実施が行われている



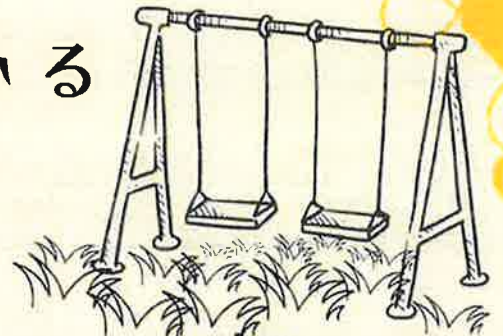
～課題～

- ・ 少子高齢化が進んでいる



プラス1

- ・ 現状行われている支援をもっと認知してもらおうためのポスターを作成する
- ・ 有田市内の公園が少ない地域(田鶴・箕島など)に小さい子供が遊びやすい公園をつくる



例…公園の地面を人工芝にする

トイレを作る(おむつを替えられる)

課題

1. 遊び場ややれないスポーツができる場所をつくる。
2. 有田市でできるものをつくる。



+!!



1. イベントを開いたり、チラシを作ってスポーツを広めていく。
2. 和歌山県が、スポーツ人気都道府県に入るようにしたい。
3. 高齢者=軽いスポーツができる場所をつくる
若い人=今有田市ではあまりできないスポーツをする場所をつくる
→できないスポーツ(ジョギング、野球、ソフトボール、ダンス、室内スポーツ、弓道、合気道)



	都道府県	%
1位	広島県	22.0
2位	宮崎県	15.0
3位	静岡県 / 福岡県	14.0

スポーツの力で未来を広げる!!

~スポーツに興味がある人有田でインパクトを~

7組4班



良い所

1. えみくるやビックスマイルパーク(以下:ビックスマ)などのスポーツ施設がある。
2. 有名な選手が多い。
 - ・九鬼巧選手(陸上選手)
 - ・北野颯太選手(サッカー選手)
3. 陸上やサッカーなどのスポーツが盛んである。



現状



1. 軽い運動、屋内スポーツなどの、ビックスマにないスポーツがある。
2. やりたいスポーツができないから、スポーツをやっている人が少ない。
3. スポーツが盛んな都道府県に和歌山県が入っていない。

観光地を増やす!

7組5班

課題

- ・交通便が不便
- ・情報が十分に伝わらない
- ・人口が少ない
- ・運営する人が少ない
- ・観光客が少ない

プラス1

- ・自然の魅力を使う
- ・有田でしかできないことをする
- ・交通方法を増やす
- ・車でも楽しめるようにする
- ・楽しんでもらうものを増やす

有田市の現状

- ・観光地の数が少ない
- ・交通便が悪い
- ・楽しめるスポットが少ない

具体例

- ・森・川を使った体験やスポットを作る
- ・船・バス移動を取り入れる
- ・夕チウオのお寿司作り体験
- ・車の移動中でも外の景色を楽しめる
- ・景色を楽しめる公園を作る

調べたこと

有名な食べ物

有田みかん、太刀魚、
金山寺味噌、醤油、
山椒、しらす、なれずし

有田市のいいところ

- ・自然が豊か
- ・みかんがおいしい
- ・地ノ島の景色がきれい
- ・夕チウオが取れる

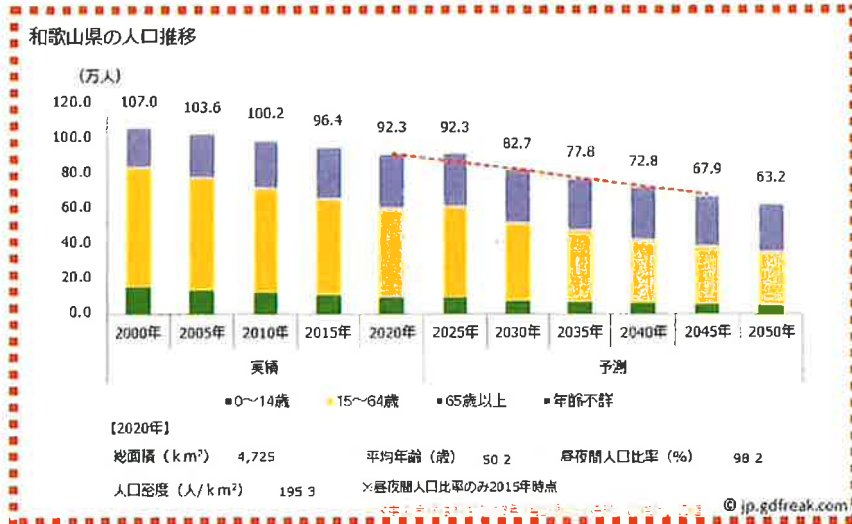


～有田市に移住してもらおう人々を増やそう～

有田市を賑やかに！

—決定の理由—

有田市の人口が増えない!!



—現状—

少子高齢化が進んでしまっていて、
仕事も和歌山市内へ行く人が多い。
有田市に移住しようと思う人が少ない

—課題—

移住してくる人を増やす！
有田市の囲碁とができる場所を
みんなに広める！

プラス1について

step1

観光地に来てもらう。
・ビッグスマイルパーク

・鮎茶屋

泊まってもらう



回数を増やす

2年6組6班

step2

・移住を考えてもらう。

step3

・移住してきてもらう。

ふるさと 納税

テーマ

多彩な特産品でつなぐ有田市

対象：有田市民

現状

- ミカンや柑橘類、海産物などの特産品が有名。
- 寄付金は年々増加している。

課題

- 特定の返礼品やキャンペーンに寄付が集中しやすい。
- 地域全体のバランスの取れた復興につながらない。

プラス1

いろいろな特産品を知ってもらい返礼品の選択肢を増やすことが必要。